

連携だより 3号 平成22年2月

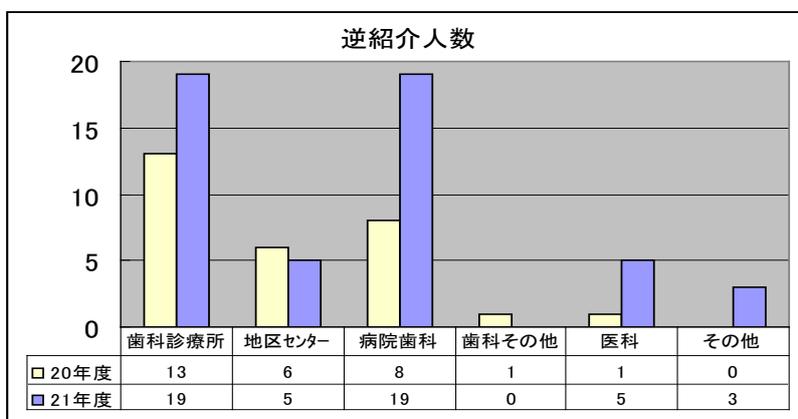
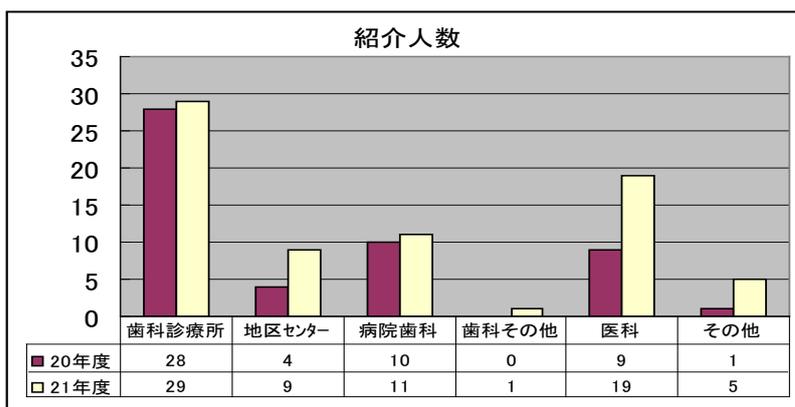
はじめに

医療連携室を設置して1年半が経過しました。そこで今号では、前年度と今年度の紹介・逆紹介・返送状況より、連携実態を報告させていただきます。また、実際に当センターから患者さんを逆紹介した協力医の先生に感想を伺い、今後の医療連携について展望していきたいと思っております。

紹介・逆紹介・返送状況 (平成20・21年度 4月～11月)

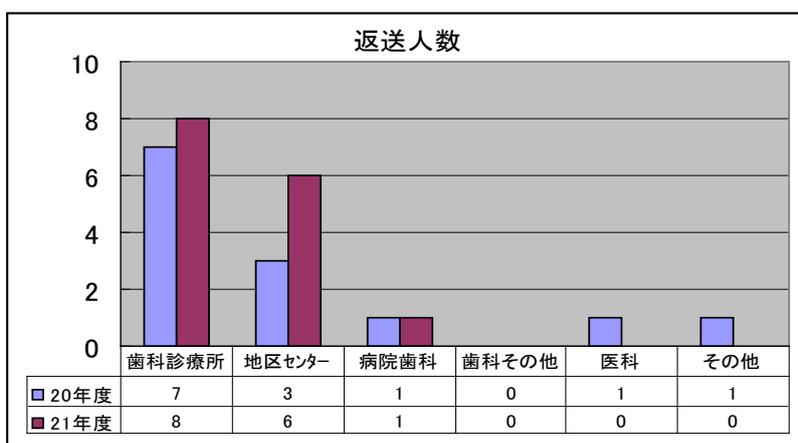
【紹介状況】

20・21年度ともに歯科医療機関における紹介元は歯科診療所が最も多く、次いで病院歯科、地区センターの順となっています。21年度は医科からの機能療法（摂食・言語）の紹介が増加しています。なお、歯科診療所における協力医からの紹介割合は、約7～8%程度です。



【逆紹介状況】

歯科診療所及び病院歯科への逆紹介が20・21年度ともに7割を超えています。病院歯科への主な逆紹介内容は、処置や検査などの依頼です。協力医への逆紹介割合は、20年度は約8%でしたが、21年度は約21%に増加しています。



【返送状況】

紹介状況で歯科診療所が最も多かったため、返送先も歯科診療所が半数を占めています。地区センターへは全身麻酔による処置終了後の返送がほとんどでした。協力医への返送割合は20年度約43%、21年度約13%でした。

以上の結果を踏まえ、紹介・逆紹介・返送状況をとおして、協力医をはじめとした各医療機関との連携をますます拡充していくことが今後の課題となっています。

協力医として関わってみて

江戸川区開業 清水治彦



私は、現在 江戸川区口腔保健センターに協力医として参加しております。今回、逆紹介の患者さんを受け持ちましたので報告します。

医療連携室の村木先生より電話頂き概要の説明を受けました。「37 歳男性で自閉症・4 ヶ月 1 回のメンテナンス・・・大丈夫ですよ。」了解して平成 21 年 11 月当科受診、担当衛生士と相談し歯周組織検査を実施し、TBI とスクーリングの治療計画を立てました。ユニット・スタッフ・診療時間は固定で慣熟の意味も含めて最初は 2 週間おき、現在 1 ヶ月おきに行っております。初回は患者さんも緊張がみられましたが、今回は最後に満足げに微笑んでおりました。担当衛生士も初めての経験ですが徐々に慣れてきております。歯間部の出血も改善されてきたので当初の予定通り 4 ヶ月にできると思います。

この連携はセンター治療担当の先生と逆紹介先の共有できる目標・信頼関係があってこそ成り立つ事業と思います。また、通院されている患者さんで障害のある方は少ないため、スタッフにとっても非常に勉強になっております。これからは無理のない範囲でお手伝いできればと思います。ご紹介ありがとうございました。

今後の展望

医療連携室長 村木 太



医療連携室も設置後 1 年半が経過し、徐々にではありますが連携数も増加しています。医療連携室では、今後も各医療機関との相互連携を推進するため、協力医の先生のご意見をもとに、多くの先生方にご賛同いただけるような連携システムの構築に努めていく所存です。

具体的には、集団研修会やホームページなどをおとした障害者歯科に関する広報・普及活動の他、協力医の先生の要望を考慮した研修会の開催も 22 年度内に計画しています。また、より緊密に連携を進められるよう、研修会を受講いただいた先生方との意見交換の場も設ける予定ですので、その節は是非ともご参加いただければ幸いです。

障害のある患者さんが安心して地域で歯科医療を受けることができるよう、来年度も医療連携室はスタッフ一丸となり歯科医療連携を推進してまいります。先生方には、引き続き障害児・者の地域のかかりつけ歯科医として、紹介・返送・逆紹介にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(「連携だより」に関するお問い合わせは) 東京都立心身障害者口腔保健センター・医療連携室 村木

TEL (03) 3235-1141 (代) / FAX (03) 3269-1213

URL <http://www.tokyo-ohc.org>